

有限責任中間法人

第三者社会基盤 技術評価支援機構・北海道

Hokkaido Regional Institute for Infra-Technology Evaluations and Supports by Third Party



設立趣意書

認識

- (1)我が国の社会資本の整備は戦後目覚ましいものがあり、これらは行政によるところが大きいと考えます。
- (2)ここにきて社会資本を提供する側と享受する側との関係の変質、多様性、高度化、地域性など、人々の要求が広範囲となり、合意形成プロセスの期待に対する現実との乖離などが出始めています。
- (3)これらの関係をスムーズな流れに展開するには、双方の関係を熟知している公平で中立的な第三者機関の技術評価・支援が必要であります。

活動方針

- (1)「地方の時代」の流れの中で地域の人々の安全、健康、福祉などを最優先とする人的、技術的両面での評価・支援を行います。
- (2)地震、洪水、土砂崩れなどの防災に対する総合的評価・支援は急務なニーズと考えます。
- (3)先端技術教育、技術者倫理の教育およびそれに係る諸問題解決のための支援活動を行います。
- (4)評価および支援は、学識経験者によって行われ、一つの方向に偏らない広い視野から活動を行います。
- (5)本機構は、利潤追求を目的とせず、人々のための社会基盤技術であることを基本に、第三者からの評価および支援を目的としている組織として活動します。

平成 17 年 6 月 1 日

第三者社会基盤技術評価支援機構・北海道 設立発起人

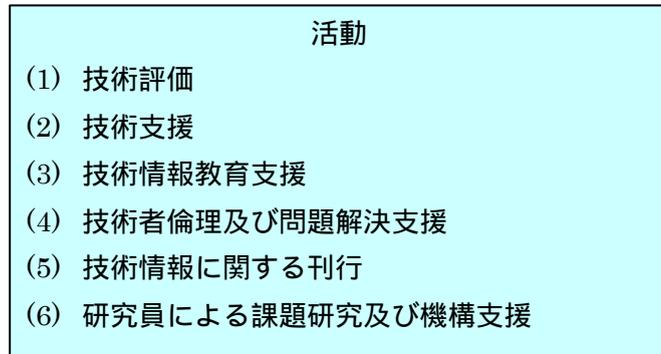
佐伯 浩 佐伯 昇 松岡 健一 鮎田 耕一 余湖 典昭 笠原 篤

平成 17 年 9 月 29 日 法人成立 HITEST 代表理事 佐伯 昇

ホームページ <http://133.87.141.197/hitest/>

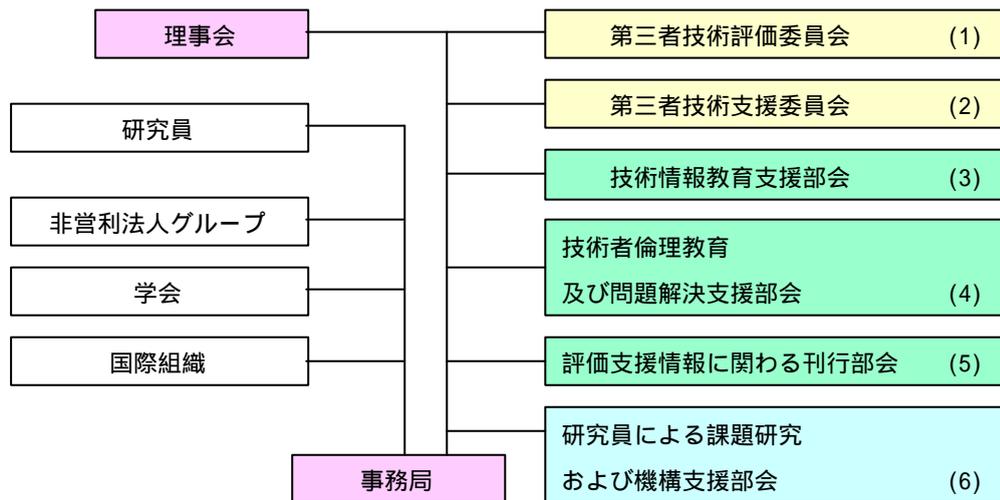
1. 活動の目的

本機構は、土木分野における技術およびそれに係わる諸問題について、第三者としての立場からの技術評価・支援、技術情報、技術者倫理教育および解決支援を、利潤を追求することなく行い、社会に貢献することを目的としています。



2. 活動内容

機構の活動は、下記の6つの活動により成り立っております。委託された課題ごとに委員会または部会を構成しますが、場合によっては委託に応じた委員会形態以外の支援活動を行っております。



技術評価・支援機構組織および活動

- (1) 技術評価委員会は、一番重要な活動ですが、評価を委託された案件ごとに委員会を構成します。委員会のメンバーの選任、委員会を出す結論などは、第三者性を損なわないように、細心の注意を払い決定し、公開の原則で活動を行っていきます。
- (2) 技術支援委員会も多くの場合、委託の課題に相応しい専門分野のメンバーから成る委員会を構成し委員会活動によって行います。(1)と同様に通常の場合、委員会は10人程度の専門学識経験者で構成されます。場合により、全国的にその分野のエキスパートを探索し、参加して貰います。委員会活動以外の技術支援活動として、行政官庁が主催する部内委員会への、専門委員の推薦なども行っております。

3. 学識経験者グループ(社員、理事、監事、顧問)

(a) 構造・耐震

上田 多門 (北海道大学大学院工学研究科教授)
大島 俊之 (北見工業大学 附属図書館長・副学長)
角田 與史雄 (北海道大学名誉教授)
岸 徳光 (室蘭工業大学工学部教授・学科長)
佐藤 浩一 (北海道大学名誉教授)
杉本 博之 (北海学園大学工学部教授)
田辺 忠頭 (有限責任中間法人社会基盤技術評価支援
機構・中部専務理事)
花田 真吉 (北海道技術士センター事業委員会委員)
松岡 健一 (室蘭工業大学理事)
三上 隆 (北海道大学評議員・副研究科長)

(c) 土質・地盤

上浦 正樹 (北海学園大学工学部教授)
神谷 光彦 (北海道工業大学工学部教授)
鈴木 輝之 (北見工業大学 地域共同研究センター長)
能登 繁幸 ((財)北海道開発技術センター参与)

(e) 計画・交通・マネジメント

伊藤 昌勝 (北海道技術士センター会長)
笠原 篤 (北海道工業大学工学部教授)
佐藤 馨一 (北海道大学大学院工学研究科 兼 公共政
策大学院教授)
新山 惇 (北海道建設業信用保証㈱社長)
平川 幸三 ((財)北海道建設技術センター技術顧問)
山上 徹郎 ((財)北海道建設技術センター事務理事)

(b) 河川・沿岸海洋

上原 泰正 ((社)寒地港湾技術研究センター理事長)
佐伯 浩 (北海道大学理事・副学長)
嵯峨 浩 (北海学園大学工学部教授)
清水 康行 (北海道大学大学院工学研究科教授)
長谷川 和義 (北海道大学大学院工学研究科教授)
藤田 睦博 (北海道大学名誉教授)

(d) 構造材料・寒地・補修

鮎田 耕一 (北見工業大学理事・副学長)
太田 利隆 (日本データサービス技術顧問)
小野 定 (中央大学大学院兼任講師、東海大学非常勤
講師、C&R コンサルタント社長)
大沼 博志 (北海道大学大学院工学研究科教授・専攻長)
佐伯 昇 (北海道大学名誉教授)
服部 健作 ((財)北海道コンクリート技術センター理事
長)
堀口 敬 (北海道大学大学院工学研究科助教授)
森吉 昭博 (北海道大学大学院工学研究科教授)
吉野 伸一 (JR 北海道 鉄道事業本部 工務部長)

(f) 環境

NPO 法人 水環境北海道
余湖 典昭 (北海学園大学工学部長)
渡辺 義公 (北海道大学大学院工学研究科教授)

(g) 技術者倫理教育および支援

佐伯 昇 (北海道大学名誉教授)
杉本 泰治 (NPO 法人科学技術倫理フォーラム理事長)
麻田 徹正 (麻田徹正公認会計士事務所長、北海道を元
氣にする会代表世話人)
能登 繁幸 ((財)北海道開発技術センター参与)

(この他に支援のための学識経験者が加わる)

4. 技術評価・支援と手順

本機構では、技術評価および技術支援を次のような手順で進めています。

業務の依頼

事務局への電話、FAX、e-mail の他、非営利法人グループなどの直接の依頼にも応じます。

事務局における検討

事務局において、依頼された案件について事務的検討をとりまとめ、理事会に提出します。

理事会における検討

事務局において検討された依頼内容に対する検討が行われます。理事会で承認が得られた場合、必要に応じて第三者技術評価委員会、第三者技術支援委員会などの設置作業に入ることになります。依頼者との契約を行います。

技術評価委員会、技術支援委員会、などの設置

理事会により、依頼案件を解決するために最もふさわしい専門家およびエキスパートを選出し、委員会を設置し、委員の中から委員長を1名任命します。

技術評価委員会、技術支援委員会、などの設置

委員長を中心とした複数の委員により、委員会が開催され最終的に委員会報告を作成します。

理事会における検討と承認

委員会報告の内容について、理事会で議論が行われます。理事会で承認が得られた後、依頼案件に対する報告書が完成します。

各委員会または部会の報告および公表

依頼者に対する報告を行います。評価委員会の活動は公開です。支援委員会の報告内容は、依頼者からの要請に応じて秘密を保持します。活動は本機構ホームページ等で公表されます。

5. 各種委員会への委員の推薦

各種テーマに応じて学識経験者を当機構および外部の学識経験者の中から理事会で選定し推薦します。

6. お問い合わせ先

有限責任中間法人第三者社会基盤技術評価支援機構・北海道 事務局

〒060-8628 札幌市北区北13条西8丁目

北海道大学大学院工学研究科環境創生工学専攻

堀口 敬 TEL・FAX: 011-706-6179 horiguti@eng.hokudai.ac.jp

志村和紀 TEL : 011-706-6180 shimura@eng.hokudai.ac.jp

佐伯 昇 TEL・FAX: 0123-33-3879 saeki@eng.hokudai.ac.jp

ホームページ <http://133.87.141.197/hitest/>